

海軍功績調査部長殿

第十四戦隊機密第四號ノ五

昭和十八年十一月十日

十二月十八日送付

軍極秘

丁四號輸送部隊任務報告

第十四戦隊司令部

18.12.23

一任 務

丁四號輸送部隊任務報告

(ハ) 電令作第七三八號(キデロ五二七〇(十月))ニ依リ丁四號輸送部隊編成(聯合艦隊附屬ニ編入)セラレ本職同部隊指揮官トシテ第十四戰隊、多摩、木曾、第四驅逐隊、護國丸、清澄丸、日枝丸、栗田丸ヲ指揮シ、上海ヨリ南東方面ニ轉進ノ陸軍第十七師團ノラバウル第ニ次輸送ニ任ズ

(四) 電令作第ニ號(十月三十日)及電令作第七八四號(キデロ二〇五五(十一月))<sup>2KEg</sup> 電令作第ニ六號(キデロ三〇三五五(十月))ニ依リ上海ヨリ「ラバウル」ヘノ途次「トラック」ニテ第十七驅逐隊(浦風磯風)日威丸及神風丸ヲ併セ指揮下ニ入ル

(ハ) 編成

指揮官

第十四戰隊司令官

二 經過概要

小軍隊區分

(一) 自上海至「トラック」

兵力

第十四戰隊、多摩、木曾、第四驅逐隊(野分、舞風)  
 栗田丸、日枝丸(以上十月五日附)  
 護国丸、清澄丸、山雲(以上丁三號輸送部隊「トラック」  
 歸着時十月九日〇七三〇)  
 第十七驅逐隊、浦風、磯風(十月三十日一三五五)

部隊名	指揮官	兵	カ	主要任務
第三輸送隊	多摩艦長	多摩	木曾	第三次輸送
第二輸送隊	本職	第十四戰隊、山雲、清澄丸、護国丸		第二次輸送
第四驅逐隊	四驅司令	第四驅逐隊(野分、舞風)、日枝丸、栗田丸		第三次輸送

自「トラック」至「ラバウル」

部隊名	指揮官	兵	力	主要任務
第一輸送隊	多摩艦長	多摩	木曾	第二次輸送
第二輸送隊	本職	第十四戰隊、第十七驅逐隊	護國丸	第三次輸送
第三輸送隊	四驅司令	第四驅逐隊	日枝丸	第四次輸送

(四) 丁四號輸送部隊編成後(下)信電令第一七七號(下)キデロ六一三五(十月)ニ依リ当隊(五十鈴)初風、海風ヲ指揮シ十月六日〇四〇一度三〇分北、一四六度三七分東ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ損傷セル風早ノ救難ニ任ズ

風早ハ六日〇四〇以後六回三且リ敵潜水艦ト交戦、損傷艦ニテ砲爆雷攻撃等善戦克ク努メシモ同日一八三〇遂ニ沈没セリ  
 海風ハ六日一〇三〇PT発見、風早遭難現場ニ先行(速力二九節)  
 二〇四五遭難推定地矣、着尔後極力搜索中、七日〇二〇〇風

早内火艇及人員漂流中ヲ發見セリ(推定位置ヨリ三〇度  
方向約九湮偏位)

当隊(五十鈴)(六日一五三〇將旗ヲ一時五十鈴ニ移揚ス)初風ヲ  
率ヒ六日一六〇〇PT北水道出撃現場ニ急行ス(速力三四節)  
七日〇三〇九度五〇分北二五〇度〇分東ニ於テ二七〇度ニ變針  
風早ヲ搜索シツ西進〇五三三海風ヲ發見〇六〇〇合同セリ  
漂流人員收容(海風一五四初風九八)五十鈴ハ風早内火艇  
一收容〇八三〇救難作業終了歸途ニ就ク

TFキデ〇七二四五八(遠ニPTニ歸投出撃準備ヲ完成セシ)及  
信電令第三號(TFキデ〇七六五三)ニ依リ海風初風ハPTニ先  
行セシム当隊(五十鈴)七日二三四五PT着

(ハ)TF電令作箋七四二號(TFキデ〇七〇七二〇)  
一丙作戦箋一法敬言戒

ニ U N B ハ 現 作 戦 ヲ 續 行 セヨ

GF キ デ ヲ セ ヲ セ 五 一

丙 作 戦 ニ 拘 ハ ラ ス 丁 四 號 輸 送 部 隊 ハ 予 定 通 行 動 ス ベ シ 但 シ 第 三 輸 送

(40g 日 枝 丸 栗 田 丸) ノ PT 発 進 ハ 後 令 ス

U N B 電 令 作 第 二 六 號 (U N B キ デ ヲ セ ヲ セ 八 三 五)

丙 作 戦 第 一 法 警 言 戒

U N B 電 令 作 第 二 八 號 (U N B キ デ ヲ セ ヲ セ 二 〇 九)

丙 作 戦 第 一 法 用 意

X 日 十 一 日

GF 電 令 作 第 七 四 六 號 (GF キ デ ヲ セ ヲ セ 三 一) 及 U N B 電 令 作 第 二 九

號 (U N B キ デ ヲ セ ヲ セ 二 一 八) ニ 依 リ 第 十 四 戰 隊 栗 田 丸 朝 風 及

甲 支 隊 ヲ 以 テ 海 上 機 動 兵 団 (U K H) ヲ 編 成 本 職 指 揮 官 ト

シ テ 同 兵 団 ヲ 指 揮 ス

セ ラ リ

当隊(五十鈴欠)栗田丸朝風八日一〇〇〇ポナ。ペニ向ケ「トラック」発  
 (五十鈴ハ燃料補給終了次第合同ノ予定)

「トラック」ヨリ「ポナ」ヘノ途中「F」電令作第七五三號(「F」キデロハ  
 三四一)及「U」NB電令作第三三號(「U」NBキデロハ一六二五)ニ依リ  
 海上機動兵団ノ編成ヲ取止メラレ当隊(五十鈴欠)栗田丸朝風  
 八日一五三七七度八分北、二五二度三八分東ニテ反転「トラック」ニ歸投  
 ニ「F」PT看

「F」電令作第七五二號(「F」キデロハ二二三六)

一丙作戦第一法用意息及敬言戒ヲ解ク

ニ東正面敵ノ策動ニ関ジ敬言戒ヲ嚴ニセヨ

「U」NB電令作第三三號(「U」NBキデロハ一九一〇)

一丙作戦第一法用意息及敬言戒ヲ解ク

ニ通信情報ニ鑑ミ此處數日東正面ヨリスル敵ノ攻撃予ニ對シ

特ニ敬言戒ヲ嚴ニセヨ

ハ午電令作第<sup>七三八</sup>號(午キデ<sup>五七一</sup>二〇(十月))及丁四號輸送部隊  
電令作第<sup>一</sup>號(午キデ<sup>六二〇</sup>)ニ依リ

ハ第<sup>一</sup>輸送隊

多摩<sup>五</sup>日<sup>五</sup>〇〇徳山<sup>九</sup>同<sup>一</sup>八<sup>〇</sup>〇佐<sup>五</sup>保<sup>着</sup>

木曾<sup>九</sup>日<sup>一</sup>六<sup>三</sup>〇吳<sup>九</sup>多<sup>摩</sup>十<sup>日</sup>〇七<sup>〇</sup>〇佐<sup>五</sup>保<sup>九</sup>十<sup>日</sup>

二<sup>〇</sup>〇〇兩<sup>艦</sup>合<sup>同</sup>十<sup>一</sup>日<sup>一</sup>〇<sup>四</sup>五<sup>〇</sup>吳<sup>九</sup>着

搭載人員物件<sup>左ノ</sup>通

多<sup>摩</sup>陸<sup>兵</sup>五<sup>〇</sup>二<sup>(一</sup>五<sup>〇</sup>五<sup>米)</sup>木<sup>曾</sup>四<sup>七</sup>四<sup>(一</sup>五<sup>三</sup>五<sup>米)</sup>

十二<sup>日</sup>二<sup>〇</sup>〇〇吳<sup>九</sup>十<sup>八</sup>日<sup>〇</sup>八<sup>〇</sup>〇ト<sup>ラ</sup>ツク<sup>着</sup>燃<sup>料</sup>補<sup>給</sup>

卯<sup>月</sup>ヲ<sup>加</sup>ヘ<sup>十</sup>九<sup>日</sup>二<sup>〇</sup>〇〇ラ<sup>バ</sup>ウル<sup>ニ</sup>向<sup>ケ</sup>ト<sup>ラ</sup>ツク<sup>着</sup>之<sup>字</sup>運<sup>動</sup>航

行<sup>三</sup>十<sup>四</sup>節<sup>ニ</sup>テ<sup>南</sup>下<sup>中</sup>  
二<sup>十</sup>一<sup>日</sup>〇<sup>〇</sup>〇<sup>四</sup>二<sup>ニ</sup>ア<sup>イル</sup>ラ<sup>ン</sup>ド<sup>島</sup>セント<sup>ジ</sup>ョー<sup>ジ</sup>岬<sup>ノ</sup>三<sup>六</sup>度

四<sup>四</sup>湮<sup>附</sup>近<sup>ニ</sup>於<sup>テ</sup>後<sup>方</sup>低<sup>雲</sup>中<sup>ヨリ</sup>突<sup>如</sup>敵<sup>機</sup>未<sup>龍</sup>衣<sup>之</sup>ト<sup>交</sup>戰



木曾被爆一個(一番煙突右舷、又二走室)木曾ノ人員船体  
兵器機關ノ被害狀況ハ木曾戰事概報(木曾キデニ  
二一五〇)ノ通ニシテ一時停止、多摩手、卯月ニテ木曾周辺  
警戒戒曳航準備中、〇〇三〇再ビ敵哨戒機ニ機ノ低空  
爆撃手至近彈四ヲ受ケタルモ被害ナシ

〇四〇木曾自力航行可能トナリ卯月ヲシテ木曾ノ敵警戒ニ  
当ラシメ多摩手ハ「ラバウル」ニ先行中、〇二〇ヨリ〇三三〇迄、二回  
ノ爆撃(爆彈ニ発宛)ヲ受ケタルモ被害ナシ

木曾ハ約十節ニテ卯月ノ護衛下ニ〇三三五迄延敵機十八機  
ノ執拗ナル攻撃ヲ撃退、〇五〇〇以後味方直衛機及五月  
兩ノ増援ヲ得テ、二三〇「ラバウル」着一四〇火炎鎮火排水  
陸軍人員物件揚塔亦急修理ニ從事、二十一日〇六四五多摩  
「ラバウル」着陸軍人員物件揚塔一四〇ト「ラバウル」ニ向ケ「ラバ

ウル登

多摩ハ「トラツク」ニ向ケテ四節北上中二十一日二〇三五ヨリ二〇四六迄「カビエン」ノ二〇度三〇度附近ニテ敵哨戒機二機ノ低空爆撃ヲ至近彈ニテ受ク被害輕微（右舷中部十八番重油タンクニ浸水）

二十三日〇六三〇多摩「トラツク」着

GF電令作特第ニ號（GFキデニ三〇七五八）ニ依リ多摩、木曾ハ丁四號輸送部隊ヨリ除カル

(2) 第二輸送隊

GF信電令作第ニ號及同第ニ號ニ依リ第十四戰隊護国丸、清澄丸、山雲 十月十一日 〇五〇〇上海ニ向ケ「トラツク」登

十二日三三〇GF電令作第七六〇號（GFキデニ三一九〇）ニ依リ

敵濠ノ雷敷ヲ受ケ航行不能、三八度三分北一三六度五七分(土日三〇〇)漂泊中ノ間宮曳航ノ爲五十鈴分商、現場ニ急行セシム

ニ海護電令作第六三號(キデ五六九)ニ依リ間宮ノ曳航ハ朝風丸之ヲ行ヒ、五十鈴八十五日一三〇〇間宮ノ推定位置ニ到着セルモ見当ラズ尚燃料残額四三〇丁同日一五〇〇五十鈴ハ朝風丸曳航ノ間宮ニ合同同二三二〇單独徳山ニ急速回航燃料補給ノ上十七日午後間宮ニ合同ノ豫定ニテ敬言戒ヲ止メ現場齎

GF電令作第七六六號(GFキデ一六四〇八)ニ依リ十六日一四〇八五十鈴ハ間宮敬言戒任務ヲ解ガル

十六日三三〇五十鈴燃料補給終了上海ニ向ケ徳山齎

十七日三〇〇濃霧ノ夕メ五〇〇佐泊灣ニ假泊〇八〇〇同齎

十八日七口上海着

第二輸送隊(那珂、護國丸、清澄丸、山雲)十八日七口上海着

上海ニ於ケル敷系留位置左ノ通

艦名	敷系留位置
那珂	軍需部棧橋
五十鈴	右
山雲	吳淞砲台棧橋
清澄丸	右
護國丸	吳淞鐵道棧橋

十八日午前那珂ニ於テ、当司令部、上根司令部、陸軍第十七師團司令部、第二船舶輸送司令部ト輸送ニ関スル下打合セラ行ヒ十九日一四口本職陸軍第十七師

因司令部、第二船舶輸送司令部間ニ輸送協定書ニ  
調印ラ了セリ

十八日ヨリ二十日迄燃料糧食陸軍人員物件搭載人  
員物件ノ搭載ニ部増減アリタルモ別紙輸送協定  
書ノ乗艦区分ノ通順調ニ経過ニ十一日午前中ニ乗艦  
搭載ヲ完了セリ

搭載人員物件左ノ通

艦名	人員	物件	主要物件名
那珂	四八五	二七五梱	彈藥、燃料、糧食
五十鈴	四七一	二〇二梱	所八、其他彈藥、燃料、糧食
山雲	七九	二三梱	彈藥
護国丸	一七五九	二〇〇〇立米	所八、其他彈藥、糧食、小兵器類
清澄丸	一三四二	二八〇〇立米	彈藥、糧食、小兵器類

第三輸送隊二十一日〇八四五上海発 二十二日〇三二三及〇二一七ノ  
 二回ニ互リ雷撃ヲ二(位置ニ八度四〇分北ニ三四度〇〇分東)ヲ  
 受ケタルモ被害ナシ。那珂、山雲ヲシテ攻撃ヲ制圧セシム、合  
 戦圖(別圖第一)ノ通り

二十二日〇三三八当隊豫定航路上ニ栗田丸(第三輸送隊)雷  
 撃ヲ受ケ沈没セルヲ以テ豫定航路ヲ変更徳ノ島沖永  
 良部島間ヲ通過

二十六日午後〇〇時島南方及トラツク南水道附近ニ  
 敵潜水艦存在ノ情報ニ依リ北水道ヨリトラツク入港ニ  
 豫定ヲ変更ス

二十八日一六〇〇トラツク着

(3) 第三輸送隊

第四駆逐隊(野分舞風)日枝丸粟田丸十日〇六〇〇トラツク発

十七日一四〇三上海着  
上海ニ於ケル敷留位置

艦名	野分	舞風	栗田丸	日枝丸
撃留位置	軍需部棧橋	吳淞鐵道橋	全	全
			右	右

概ニ豫定ノ通陸軍人員物件搭載ヲ完了  
搭載人員物件左ノ通

艦名	野分	舞風	日枝丸
人員物件	六〇三	六〇三	二一〇〇
主要物件名	彈藥	彈藥	其他彈藥糧食小兵器類

栗田丸	一一〇〇	三七〇	米	八	其他	軍大	彈藥	糧食	小兵	器類
-----	------	-----	---	---	----	----	----	----	----	----

第三輸送隊二十日二四〇〇上海発

二十三日〇三四八基準針路一五〇度速力一四・五節之字運動航行中二六度四九分北一三五度三分東ニ於テ栗田丸敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ四本命中沈没舞風直ニ爆雷攻撃ヲナセル外野分舞風探信掃蕩セルモ手懸ナシ効果不明〇九四〇栗田丸生在者全部收容日枝丸ヲ護衛「ラバウル」ニ向フ  
栗田丸生在者

海軍准士官以上 三名 下士官兵八五名  
陸軍准士官以上 五名 下士官兵七一名  
昨キデ二八〇六四二(十月)ニ依リ第三輸送隊ハ「ラバウル」直行予定ヲ変更二八日〇八三〇五度〇分北一四三度〇分東附近ヨリ



変更「ドラック」ニ向ヒ三十日ロ入三〇「ドラック」着

中丁四號輸送部隊第二、第三輸送隊ヲ一部改編シ「信電令作  
第二十一號及「信電令作第七四號（「キデ」二〇一〇五五（二月）及「  
信電令作第二二六號（「キデ」三〇一三五五（十月）ニヨリ第十七驅逐  
隊（浦風、磯丸）及日威丸、神風丸、日草丸ヲ本職ノ指揮下ニ  
入レラレ行動予定ヲ変更ス「信電令作第二五號（「キデ」  
二〇二四八）ニ依リ日草丸ヲ除カル

軍隊区分

部隊名	指揮官	兵	カ	主要任務
第二輸送隊	本職	第二四戰隊、護國丸、清澄丸、十七驅（浦風、磯丸）		第三次輸送
第三輸送隊	四駈司令	四駈（野分、舞風、山雲）、日威丸、神風丸、日枝丸		第三次輸送

備考（一）第一輸送隊（多摩、木曾）ハ「信電令作特第一號（「キデ」  
三三〇七五八（十月））ニ依リ丁四號輸送部隊ヨリ除カル

(一)日威丸、神威丸ハ本職ノ指揮ヲ受ケ「ラバウル」迄第三輸  
送隊ト同行

各部隊ノ行動

9F信電令作第三三號ニ依リ

(一)第三輸送隊

十一月一日一五四五「トラツク」発別圖第三ノ予定航路ニ從ヒ  
「ラバウル」ニ進出ノ途次三日口四二〇、口度四分南一五一度  
三分東ニ於テ敵大型機一機ノ接触ヲ受ケ之ヲ砲撃手  
撃退セシモ遠巨砲ニテ接触ヲ続行シ居リタリ

本艦飛行機口五〇〇発艦当隊前路對潜哨戒後  
口八〇〇「カビエン」飛行基地ニ回航セシム

一二九二度口分南一五一度三十一分東ニ於テ第一口次B-24  
型十九機未龍衣銃爆撃手、当隊之ト交戦一二二〇第

二次B-124型二機再ヒ来龍衣之ト交戦敵機ハ爆撃セズ一三四五之ヲ撃手退セリ

戦果 撃墜二機(内一機不確實)  
被害 那珂敵機ノ艦橋掃射ニ依リ

司令部戦死 准士官以上一(首席参謀)

下士官兵一

軽傷 准士官以上一

那珂 戦死 下士官兵五

重傷 准士官以上二

下士官兵四

軽傷 准士官以上五

下士官兵八

清澄丸 至近彈ニ依リ機械室下船底穿孔機

其ノ他被<sub>レ</sub>害<sub>ナ</sub>シ

護国丸至近彈破片ニ依リ陸兵一名戦死  
械室浸水航行不能

合戦図(別図第四)

一三五、護国丸八浦風ヲシテ護<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>先行セシメ清澄丸ハ五  
十鈴ニテ曳航準備、那珂磯風ニテ附近警戒護<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>  
一五〇、五十鈴ハ清澄丸ヲ曳航開始速力約七節一七三〇  
ノ位置直ニ度八分南一五一度八分東ニ二〇〇ニ度五三分南  
一五一度八分東ニテ二九〇度ニ変針一〇二〇〇バンガタン島  
北一五度ヨリ南下「ステツフエ」海峡ニ向フ予定ナリシモン  
丁Fキデロ三二六二九及N丁Fキデロ三二六五三ニ依リ四日〇二三  
〇、一四〇度ニ変針「カビエン」ニ向フ  
N丁Fキデロ三二五五ニ依リ当隊救難ノタメ水無月ヲ急派

セラレニ三五当隊ニ合同主トシテ後方警戒ニ當ラシム

NTF信電令文ニ四號(NTFキテロ三二五四)ニ依リ当隊救  
難敬言戒トメ若月ヲ急派セラレ四日ロロ四日未着当隊ニ合  
同セシモNTFキテロ三二四三ニ依リ四日ロロ四分離ラバウル  
ニ先行セシム

三日二三三ロサ護国丸敵哨戒機ノ爆撃ヲ受ケ之ト交戦被  
害ナシ

四日一ロニロ十七駆(浦風)サ護国丸ヲバウル着

四日ロ七ロロ第十四戦隊、清澄丸(五十鈴曳航)碇風、水無

月ガビエン泊地着、直子ニ清澄丸ヨリ左ノ人員物件ヲ

転載セリ

那珂 一六六(速射砲四門外大発一隻分)

五十鈴 一九六(联隊砲四門外大発一隻分)

磁風 二三六(山砲二門 其ノ他若干)

水無月 二六七(大発一隻分)

水無月八一四〇〇「カビエン」及「ラバウル」ニ先行シム

NTB 信電令笈ニ五號(NTB キドロ三一九三三)ニ依リ

夕張一三三〇「カビエン」着清澄丸ニ横付人員ニ〇〇 物件

(野砲三門 彈藥 大発一隻分) 転載一五五〇「ラバウル」ニ向

ケ「カビエン」奔リ 其ノ他人員物件ハ陸軍側ト協議ノ上

NTF キドロ三二六五三及NTB 信電令作笈一六三號(NTF

B キドロ三二〇四六)ニ依リ筑紫及龍王丸ニ分載ノ予定ニ

テ其ノ終清澄丸ニ残置セリ

カビエンニ於テ五卞鈴軌錨時一四一八ニ番砲搭下部附近

敵磁気接雷ニ触雷多少ノ被害アリタルモ概ネ戦事

航海ニ差支ヘナク亦一六二九出港時磁風推進器附近ニ

触雷碓風清澄丸ハ「カビエン」ニ残シ那珂、五十鈴ノミヲ率ヒ  
 一六三〇「ラバウル」ニ向ケ「カビエン」ニ発  
 五十鈴、碓風ノ損傷状況ハ当隊キデロ四一六三〇、碓風キデ  
 ロ四一七三〇及碓風キデロ五二〇〇ノ通  
 昨電令作第七八六號(「F」キデロ四一八二七)ニ依リ十七駆(「  
 浦風、碓風」)ヲ「N」(「Y」)ニ編入セラル  
 四日二〇四五水無月「ラバウル」着  
 「N」(「F」)キデロ三二六五三及「N」(「T」)「B」信電令作第二六三三號(「  
 「T」)「B」キデロ三二〇四六)「ト」ビスマルク方面防備部隊電令  
 作第五九七號(二十上駆キデロ三二二三八)ニ依リ竹塙、紫、龍王  
 山丸ヲサ護イ「カビエン」入港時「エドマゴ」島附近ニ於テ筑  
 紫八四日二二〇龍王山丸ハ同日二二五何レモ触雷沈没セリ  
 五日「ロ」四五三夕張「ラバウル」着

第三輸送隊(那珂、五十鈴)五日ロロロ、フバウルに着、陸  
軍部隊人員物件揚塔後、敵言破泊中、第一次ロ  
九一五敵艦爆約四〇機、戦三機、約四〇機計、約八〇機  
ヲバウルニ未龍衣主トシテ在泊艦船ヲ攻撃手

第二次一〇〇〇B-124三八機、P-138約四〇機計、七〇機再  
ビ未龍衣主トシテ陸上ヲ攻撃手、ロ九一五ヨリ、ロ九四七及一〇  
ロヨリ、一〇五三迄我之ト交戦、撃手退セリ

戦果 撃手隊 十五、六機(重複アルベシ)  
被害 ナシ

計電令作、第七八七號(ギキデロ五二三八)及NTBキデロ五  
一六五ニ依リ、第十四戦隊及護国丸、六日、ロ四三〇トラス  
クニ向ケ、フバウル発  
九日、ロ一五〇トラスクに着



## (2) 第三輸送隊

甲電令作第七八四號(甲キデロ二〇五五)及丁四號信電  
 令作第二三號ニ依リ四駆(野分、舞風、山雲)日枝丸、日威  
 丸及神風丸八三日〇四三〇トラツククニ在

別圖第三ノ予定航路ニ從ヒ南下中四日一六四五敵B124  
 一機ト交戦撃退被害ナシ四日一七五九〇度四五分北一五二  
 度五分東ニテ敵潜水ノ雷撃手ヲ受ケ内一本日枝丸附近ニ  
 テ自爆シ日枝丸中間軸受六個損傷セルモ出シ得ル  
 速力十二節 NTFキデロ四〇七三〇 NTFキデロ四二〇九及  
 NTFキデロ四二〇五五ニ依リ四日二二〇〇予定ヲ變更〇度  
 二〇分北一五一度四五分東ニテ北西方ニ反転五日〇二三〇以後  
 B124一機ノ触接ヲ受ケ之ト交戦被害ナシ(一度五分北  
 一五二度一五分東)

五日〇七三〇。一度五分北一五〇度四分東ニ於テ、日威丸敵望鏡ヲ発見。爆雷攻撃探信掃蕩ヲ行フモ効果不明。

同〇九三五。二度〇分北一五〇度三分東ニ於テ神風丸敵望鏡ヲ発見。舞風爆雷攻撃ヲ行ヒ広範囲ニ油多量湧出効果概不確實。

同一六四三。三度〇分北一四九度三分東ニ於テ神風丸敵望鏡ヲ発見。舞風攻撃掃蕩セシモ効果不明。

NTB電令作第ニ八號(NTBキテロ五一八三三)ニ依リ六日〇八五行動予定ヲ変更「トラツク」ニ向フ。

第三輸送隊(野分、舞風、山雲、日枝丸)及神風丸、日威丸  
七日一〇〇「トラツク」着

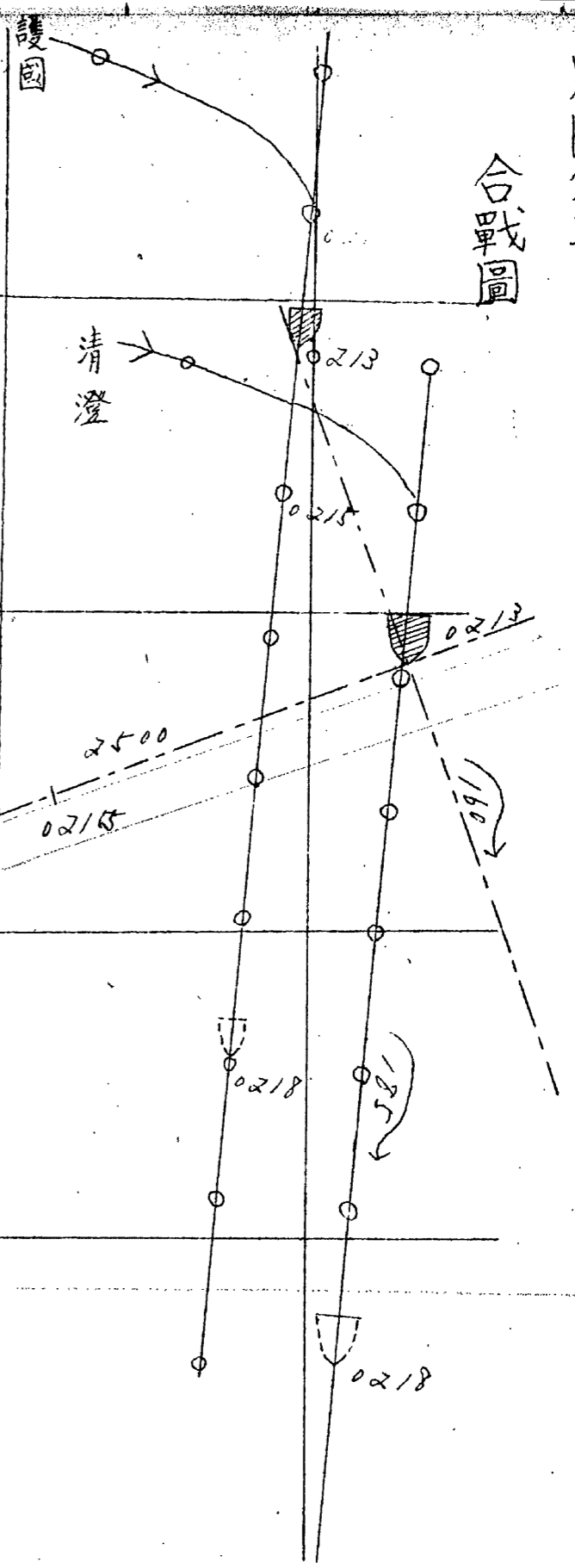
(2) 廿電令作第七九二號(廿キテロ八一〇二四)ニ依リ八日一〇二四

丁四號輸送部隊ハ左ノ通改編 NTBニ編入サル

(指揮官、兵力) 四駆司令、四駆、日枝丸  
 ニ丁四號輸送部隊ノ「ラバウル」進出ハNTB指揮官所定  
 三神風丸、日章丸ノ「ラバウル」進出ヲ取止ム  
 四第十四戰隊、護国丸、清澄丸ヲ原隊ニ復旣ス  
 以上午電令作第七九二號ニ依リ各艦隊ハ本職ノ指揮ヲ解  
 カル  
 改編丁四號輸送部隊(四駆、日枝丸)NTB電令作第一三號  
 (NTBキテロ八一〇四七)ニ依リ九日〇四三〇「ラバウル」ニ向ケトラ  
 ツク登  
 行動概要別表

別圖第一

合戦圖



被雷撃情況

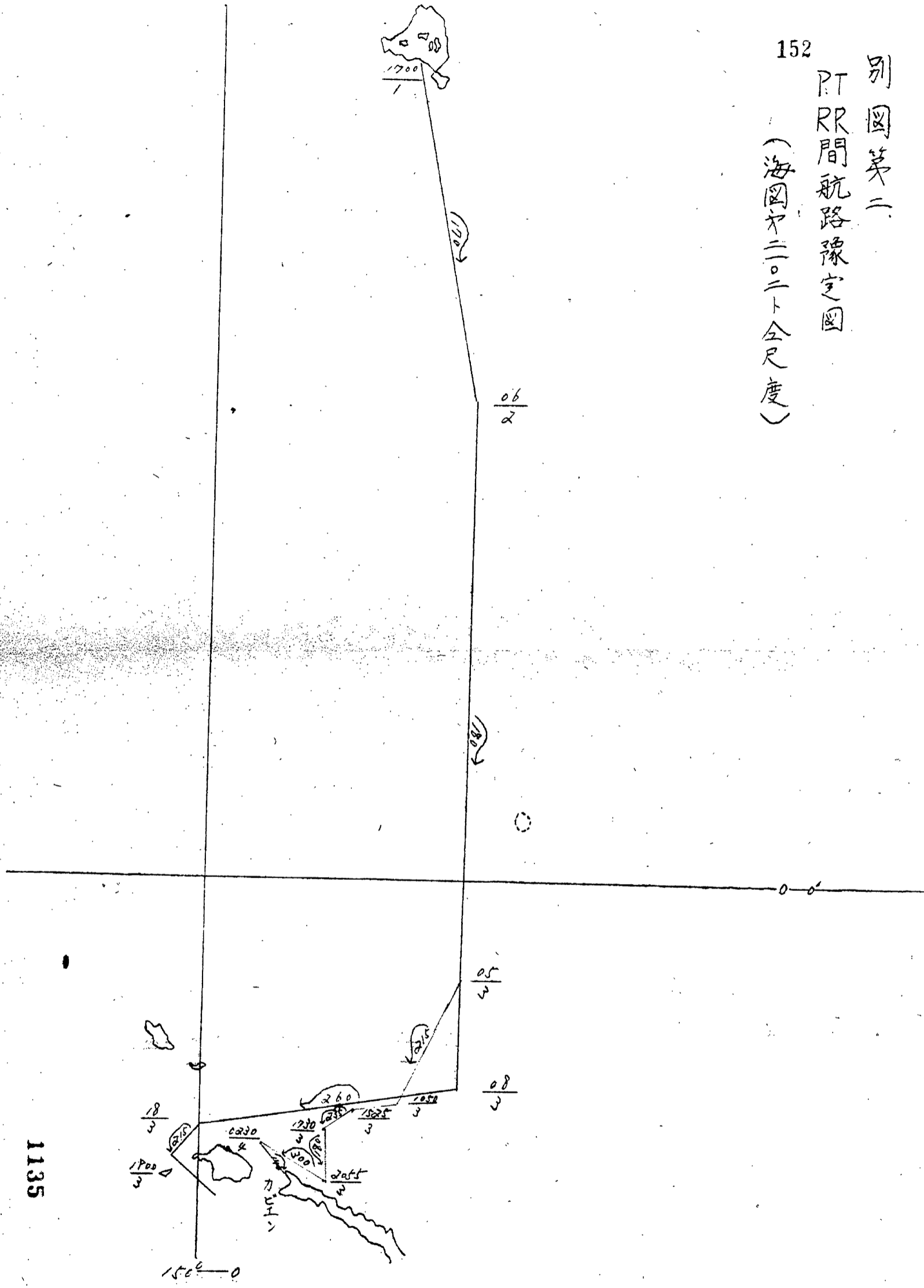
0213
10-22
0217
10-22

投射開始

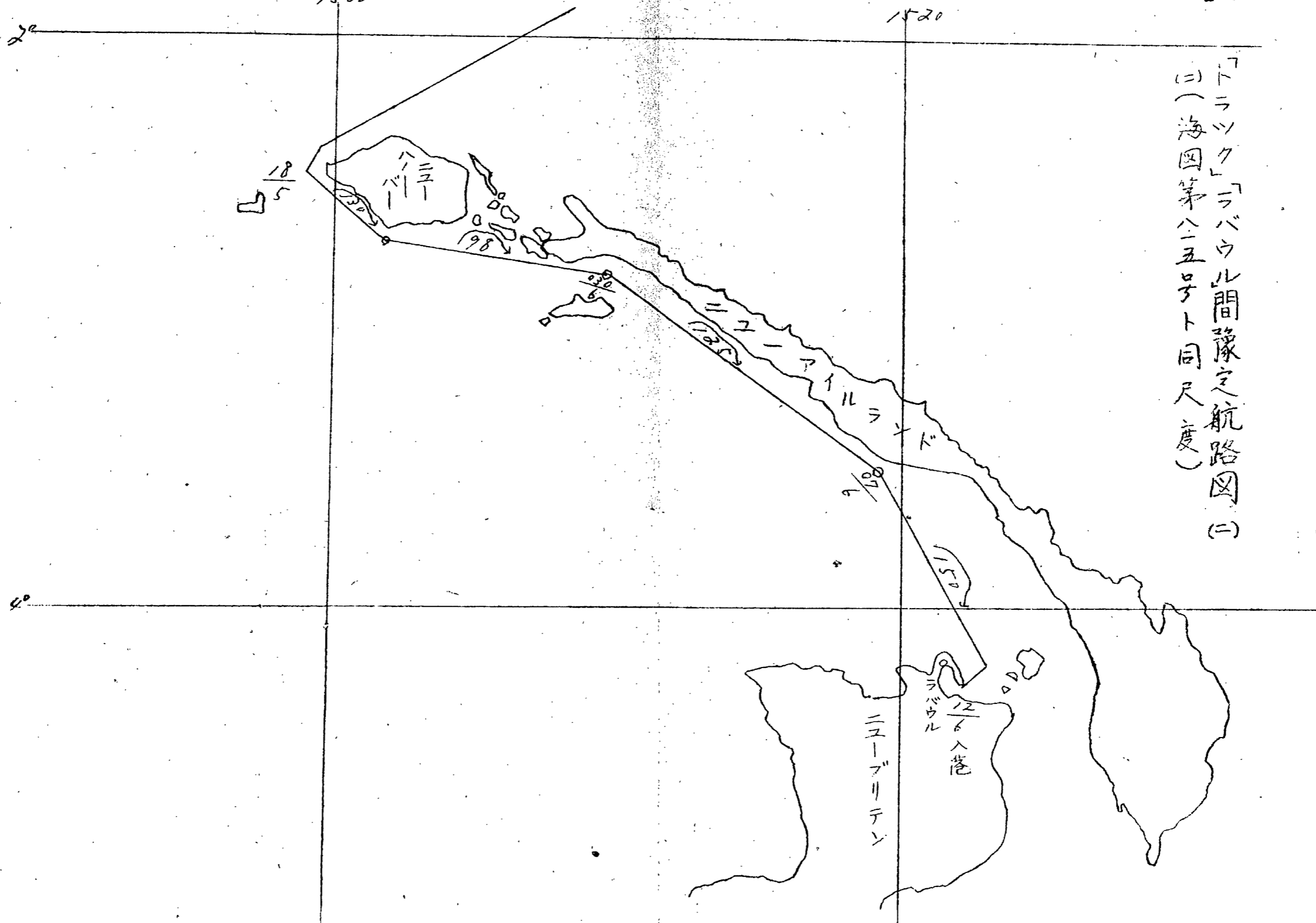
270
0220
150-200
0217
0219

別圖第二  
PT RR間航路豫定圖

(海圖ヲ二。ニト全尺度)



1135



「トリック」ラバウル間豫定航路図(二)  
 (一海図第五五号ト同尺度)

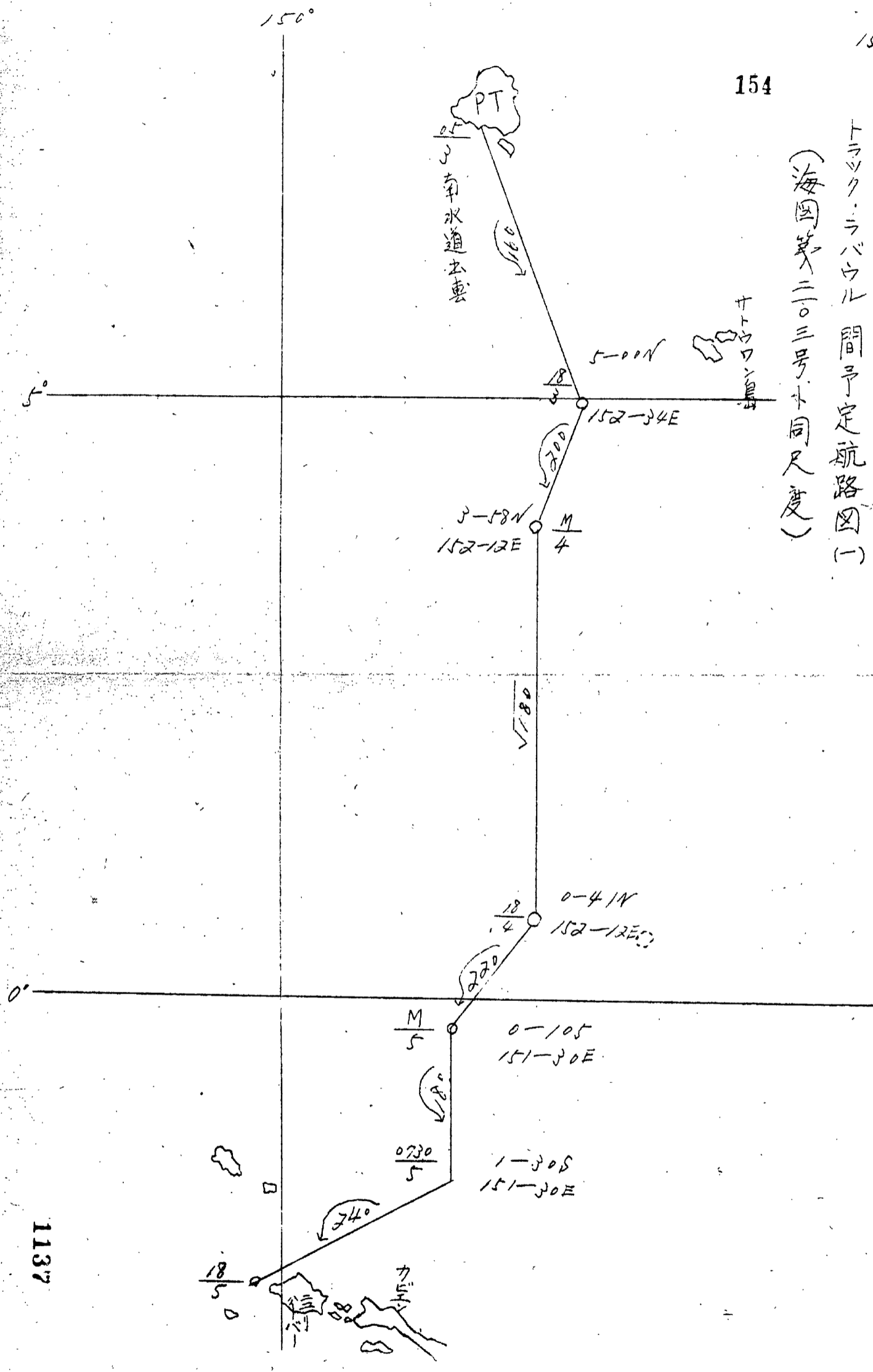
別圖第三

丁四號輸送部隊第三輸送隊

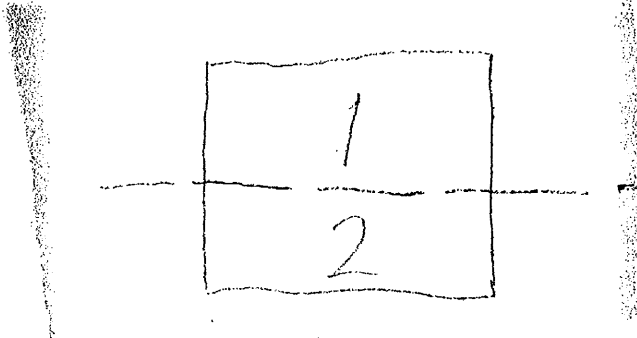
トラック・ラバウル間予定航路図(一)

(海圖第二〇三号ト同尺度)

154



# 分割撮影ターゲット

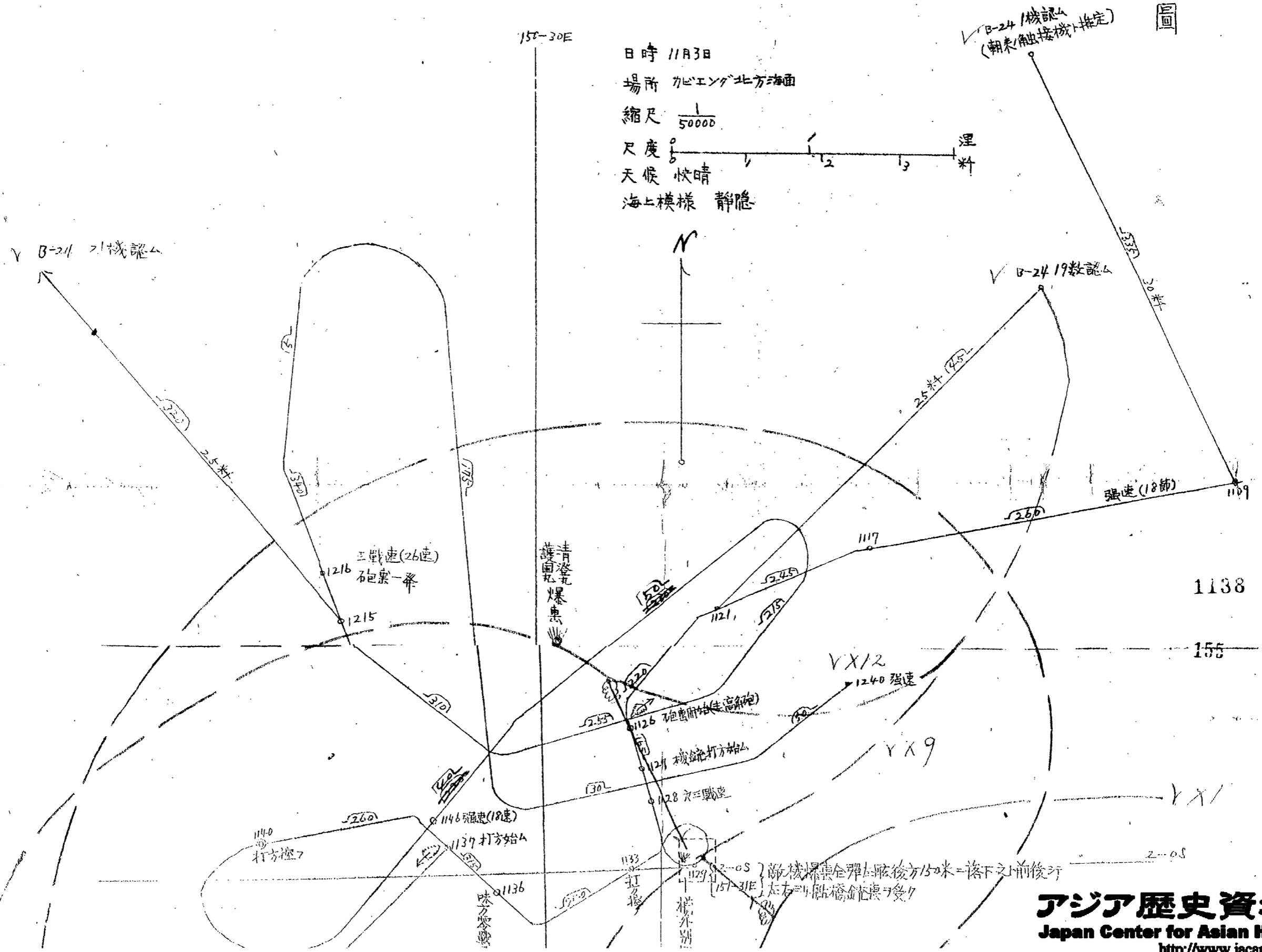
分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>59年10月29日</p> <p>主務者又は 撮影立会者</p> <p>山岸正雄 (印)</p>	

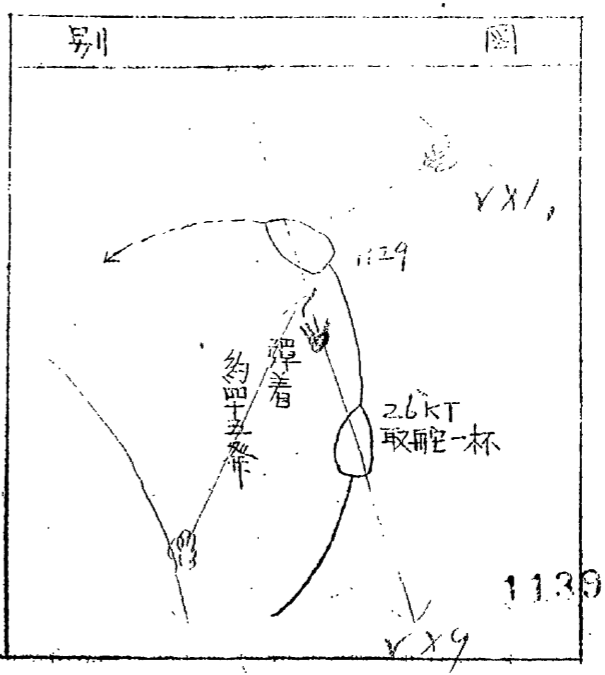
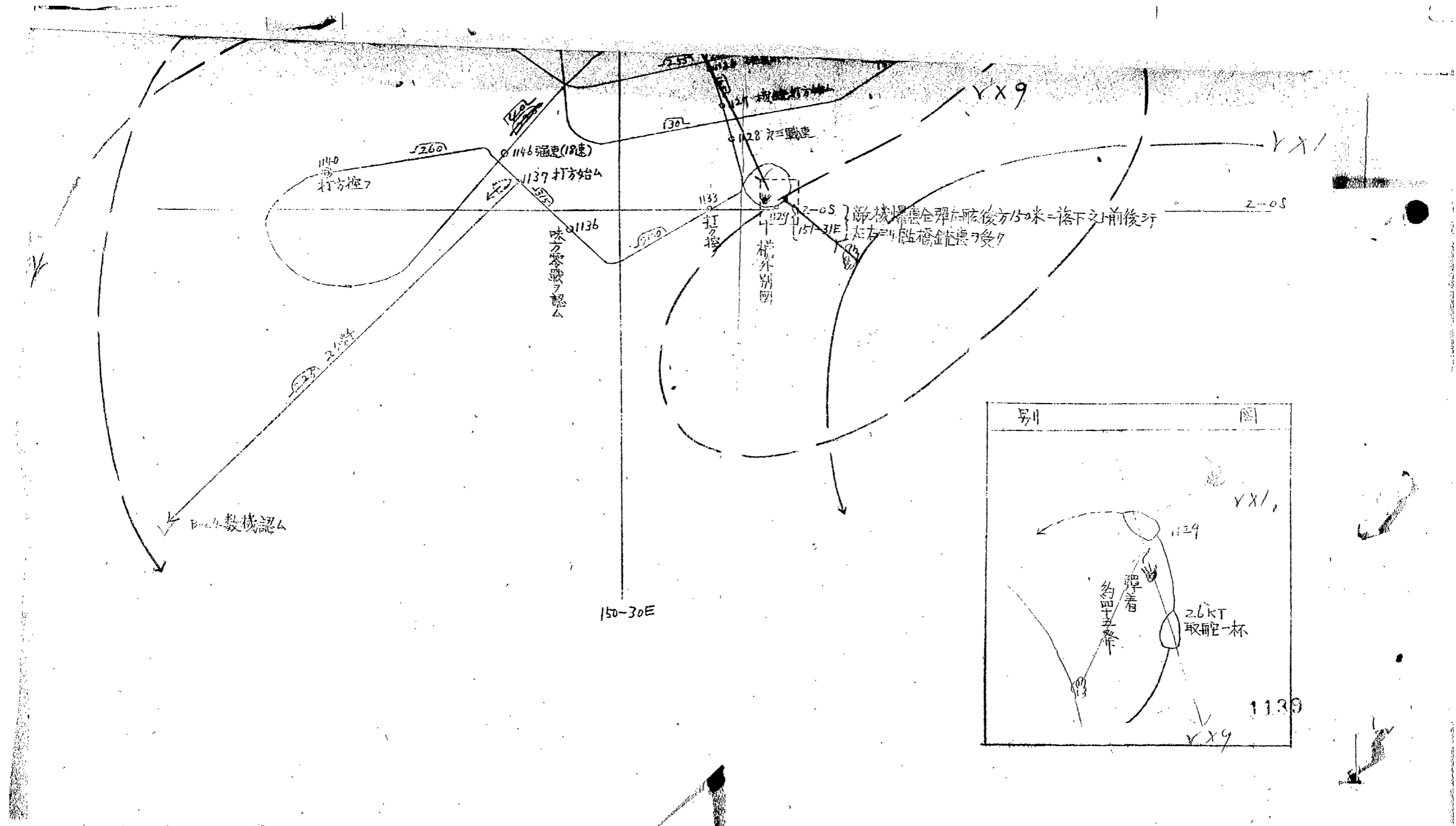


軍艦那珂合戦圖

別圖

日時 11月3日  
 場所 カビエンゲ北方海面  
 縮尺 1/50000  
 尺度 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100  
 天候 快晴  
 海上模様 静穏





別表(行動概要)

	三	四	五	六	七	八	九	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	〇	一	二	三	四	五	六	七	八
多摩		五日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
木曾	丁四	日一七																								
那珂	号	一七〇																								
五十鈴	輸	送																								
護國丸	部	隊																								
清澄丸	隊	編																								
山雲	成																									
野分																										
舞風																										
日枝丸																										
栗田丸																										
浦風																										
磯風																										

二	二	二	二	二	二	二	三	三	二	二	三	四	五	六	七	八	九					
二	三	四	五	六	七	八	九	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九					
〇〇	〇〇	PT	第一輸送隊																			
RR	23日0758 GF電令作特第一号=依リ丁四号輸送部隊ヲ除カル																					
一六〇	PT	五四五	敵大型機ト交戦清澄丸航												RR	ニテ	〇九	〇〇	敵戦爆計約150機	PT	第二輸送隊	
令上	PT	令上	三日英次ニテ												RR	令上	令上	令上	PT			
令上	PT	令上	カビエン												RR	令上	令上	令上	PT			
令上	PT	令上	カビエン																			
令上	PT	〇四三〇	〇四三〇												PT	RR=向テ	PT発	自11月11日至11月30日文=輸送隊自11月20日至11月27日 第三輸送隊				
〇八三〇	予定変更	PT	〇八三〇												PT	令上	令上	11月4日1645敵大型機一機ト交戦同1757 敵潜ノ雷撃ヲ受テ日枝丸損傷輕微				
令上	PT	令上	令上												PT	令上	令上	11月5日神風丸敵潜望鏡発見 舞丸爆雷攻撃 概ニ確定文ニ輸送隊11月27日改編丁四号輸送部隊				
令上	PT	令上	令上												PT	令上	令上					
〇三四八	10月22日0348敵潜ノ雷撃ヲ受テ沈没																					
PT	五四五	RR												11月4日1817 GF電令作*786号=依リ 夕驅(浦凡、磯凡)ヲVTB(YB)=編入						自11月1日至4日 文=輸送隊		
PT	五四五	カビエン																				